

写真家山本英夫『沖縄 基地の重圧をゆるがす』 & ジュゴン保護キャンペーンセンター ジョイント写真展



◇6月16日(土) 13時～19時
【交流会】17時～18時

◇6月17日(日) 10時～17時
【交流会】15時～16時

○交流会

トーク～写真家山本英夫さん、
アピール～ジュゴン保護キャンペーンセンター

入場無料

ジュゴンの棲む海～辺野古・大浦湾への基地建設は、「ジュゴンの海を守れ！」と世界中からの反対の声で進んでいません。また2月に出された、沖縄県知事の「辺野古アセス評価書の飛行場建設に関する意見」では、垂直離発着機オスプレイやジュゴンなど25項目175件について問題点が指摘され、「県外移設が合理的」と辺野古新基地建設の見直しが要求されました。

今年9月には、韓国済州島でIUCN(国際自然保護連合)の世界自然保護会議が開催されます。沖縄のジュゴン保護を世界にアピールしたいと考えています。

今回、写真家山本英夫さんとのジョイント写真展を開催することとなりました。みなさまの参加を心より呼びかけます。



- 山本英夫さん(フォトグラファー、自然写真・報道写真)
1951年東京生まれ。1989年5月から沖縄に継続して出かける。1995年の米国海兵隊の少女暴行事件に衝撃を受け、改めて軍隊・基地・戦争を問い、沖縄・日本各地の基地・軍隊を撮影。現在は、基地・軍隊、自然、人々を沖縄を軸に撮影中。1999年以降写真展を開催。

- 展示写真のコンセプト
 - ・「見える沖縄、視る沖縄」
 - ・「もう許さんぞ！」(2009年11月8日～2010年9月)
 - ・基地の島を歩く～普天間、辺野古・大浦湾、高江・与那国島等(自衛隊)
 - ・「正念場を迎える2012年」
 - ・「硝煙の臭いが漂う中で～日米安保条約に縛られる日本」
 - ・「どう生きてきたか、生きるのか？」
 あの戦争は終わっていない、15年ぶりに訪れた伊江島、辺野古テントの座り込み

なかのZERO西館1階美術ギャラリー

東京都中野区中野 2-9-7 TEL.03-5340-5000

